

被災学生・高校生への支援

被災学生・高校生への支援

沿岸部の宮古市にキャンパスを有する宮古短期大学の学生の中には、震災のため住居を確保することが困難となり、盛岡市等の遠方から通学することを余儀なくされた学生もいました。そのような学生に対し、宮古短期大学部までの交通手段や住居を確保し、安心して修学できるよう支援を行いました。また、被災した学生等が経済的理由により進学、修学を断念することがないように、平成23年度から入学料・授業料の減免を行い、平成25年度からは本学独自の奨学金である学業奨励金に「被災学生特別枠」を創設するなど様々な経済的支援を実施しています。

入学料・授業料の減免

甚大な被害を受けた者への経済的支援として、入学料や授業料を原則として全額免除（授業料については被災状況等により半額免除の場合あり）しました。

【支援の対象】

東日本大震災津波により、次のいずれかの被害を受けた者

- ・住居の被災（全壊、大規模半壊、全焼、流失）
- ・学資負担者の死亡又は行方不明
- ・福島原発事故による立退き等

なお、平成29年度からは審査基準に学力要件を設けるとともに、被災状況及び経済状況によっては1/4免除となる規定を設けています。

学業奨励金「被災学生特別枠」

被災学生の生活を支援するため、平成25年度に学業奨励金に被災学生のための特別枠を創設しました。（令和3年度廃止）

【支援の対象】

東日本大震災津波により、次のいずれかの被害を受けた世帯の学生

- ・住居の被災（全・半壊、大規模半壊、全・半焼、流失）
- ・学資負担者の死亡又は行方不明
- ・福島原発事故による立退き等

	入学料	授業料（前・後期の延べ人数）	岩手県立大学学業奨励金「被災学生特別枠」
平成23年	(学部・大学院) 34人 (盛岡短大部、宮古短大部) 13人 減免額 平成23年度入学料 10,287千円	[学部・大学院] 217人 [盛岡短大部、宮古短大部] 52人 減免額 平成23年度授業料 65,535千円	-
平成24年	(学部・大学院) 34人 (盛岡短大部、宮古短大部) 13人 減免額 平成24年度入学料 10,175千円	[学部・大学院] 166人 [盛岡短大部、宮古短大部] 42人 減免額 平成24年度授業料 48,119千円	-
平成25年	(学部・大学院) 36人 (盛岡短大部、宮古短大部) 14人 減免額 平成25年度入学料 10,807千円	[学部・大学院] 188人 [盛岡短大部、宮古短大部] 49人 減免額 平成25年度授業料 53,709千円	既存の岩手県立大学学業奨励金に「被災学生特別枠」を創設し、「支援対象」①～④のいずれかに該当する被害を受けた世帯の学生を対象に奨学金の交付を開始 平成25年度奨学生 6人 年間総貸与額 2,160千円（月額30,000円）
平成26年	(学部・大学院) 34人 (盛岡短大部、宮古短大部) 10人 減免額 平成26年度入学料 9,882千円	[学部・大学院] 187人 [盛岡短大部、宮古短大部] 50人 減免額 平成26年度授業料 52,711千円	平成26年度奨学生 10人 年間貸与額 3,240千円（月額30,000円または50,000円）
平成27年	(学部・大学院) 11人 (盛岡短大部、宮古短大部) 8人 減免額 平成27年度入学料 3,970千円	[学部・大学院] 173人 [盛岡短大部、宮古短大部] 33人 減免額 平成27年度授業料 45,000千円	平成27年度奨学生 11人 年間総貸与額3,600千円（月額30,000円または50,000円）
平成28年	(学部・大学院) 12人 (盛岡短大部、宮古短大部) 13人 減免額 平成28年度入学料 5,054千円	[学部・大学院] 147人 [盛岡短大部、宮古短大部] 44人 減免額 平成28年度授業料 42,063千円	平成28年度奨学生 8人 年間総貸与額2,400千円（月額30,000円または50,000円）
平成29年	(四大学部・大学院) 13人 (盛岡短大部、宮古短大部) 8人 減免額 平成29年度入学料 4,468千円	[四大学部・大学院] 109人 [盛岡短大部、宮古短大部] 37人 減免額 平成29年度授業料 22,946千円	平成29年度奨学生 5人 年間総貸与額1,800千円（月額30,000円または50,000円）
平成30年	(四大学部・大学院) 20人 (盛岡短大部、宮古短大部) 5人 減免額 平成30年度入学料 5,528千円	[四大学部・大学院] 76人 [盛岡短大部、宮古短大部] 20人 減免額 平成30年度授業料 19,078千円	平成30年度奨学生 4人 年間総貸与額1,440千円（月額30,000円）
令和元年	(四大学部・大学院) 9人 (盛岡短大部、宮古短大部) 12人 減免額 令和元年度入学料 4,467千円	[四大学部・大学院] 78人 [盛岡短大部、宮古短大部] 25人 減免額 令和元年度授業料 18,390千円	令和元年度奨学生 3人 年間総貸与額1,080千円（月額30,000円）
令和2年	(四大学部・大学院) 11人 (盛岡短大部、宮古短大部) 14人 減免額 令和2年度入学料 4,896千円	[四大学部・大学院] 76人 [盛岡短大部、宮古短大部] 29人 減免額 令和2年度授業料 11,502千円	令和2年度奨学生 3人 年間総貸与額 1,080千円（月額30,000円）

住居が確保できない学生への支援

震災のためアパート等の住居の確保が困難な宮古短期大学の学生に対し、平成23年5月16日からこの年の前期授業が終了する9月2日までの間、盛岡から宮古までのスクールバスを運行しました。

また、宮古短期大学の近隣に居住できず、盛岡から通学する学生の住居の確保に供するため、滝沢キャンパスの教職員宿舎を提供するよう準備しましたが、利用希望者がなく使用には至りませんでした。

【利用者数】

5/16～7/1…7名、7/2～7/22…6名、7/23～9/2…5名

他大学の被災学生への修学支援

公立大学協会及び公立短期大学協会の要請に基づき、被災した他大学の学生の修学を支援するため、被災学生を科目等履修生として受け入れることができるよう、平成23年4月に科目等履修生の追加募集を実施しましたが、これを希望する学生はありませんでした。

被災高校生への支援

被災高校生を対象とした特別選抜の実施

県内の高校からの要請等を踏まえ、被災高校生が震災を原因として大学への進学を断念することがないように受験機会の確保を目的として、平成24年度入試において被災高校生を対象とした震災特別選抜を新設し、平成27年度入試から震災特別推薦入試に変更して実施しています。(令和3年度選抜より廃止)

平成24年度選抜	39名受験、22名合格	平成27年度選抜	10名受験、8名合格	平成30年度選抜	2名受験、2名合格
平成25年度選抜	40名受験、22名合格	平成28年度選抜	16名受験、8名合格	平成31年度選抜	1名受験、1名合格
平成26年度選抜	29名受験、15名合格	平成29年度選抜	6名受験、2名合格	令和2年度選抜	1名受験、1名合格

大学入試センター試験における大船渡高等学校試験場での試験実施

平成23年度に北里大学が大船渡高等学校を臨時試験会場として実施した大学入試センター試験を平成24年度から本学が引き継ぎ、岩手医科大学、県教育委員会、大船渡高等学校の協力の下、合同で実施しています。

オープンキャンパスへのバス運行支援

被災地の高校生の進路選択を支援するため、平成23年度から被災地の高等学校が本学オープンキャンパスに参加するためのバス経費を本学が負担しています。

平成23年7月3日(日)開催：7校16台、参加者数2,500人	平成28年7月3日(日)開催：11校14台、参加者数508人
平成24年7月1日(日)開催：9校15台、参加者数2,400人	平成29年7月2日(日)開催：8校12台、参加者数444人
平成25年7月7日(日)開催：9校14台、参加者数2,500人	平成30年7月1日(日)開催：10校14台、参加者数409人
平成26年7月6日(日)開催：10校15台、参加者数2,700人	令和元年7月7日(日)開催：7校10台、参加者数397人
平成27年7月5日(日)開催：10校15台、参加者数2,400人	※令和2年度はオープンキャンパス中止

沿岸地区入試相談会

令和2年度は、被災地の高等学校の高校生及び保護者を対象に、3カ所の会場にて入試相談会を行いました。

【内容】 ・入試相談

・キャンパスアテンダントによる学生生活紹介

【実績】 ・7月17日：宮古高校（63名） ・7月22日：久慈高校（45名） ・7月23日：大船渡高校（16名）